

2011年11月24日

町田市議会議長 川 畑 一 隆 様

町田市長 石 阪 丈 一
(公印省略)

町田市における今後の放射線対策について (報告)

町田市内における放射線量の局所的な分布実態に関するサンプル調査の結果及び今後の対策について、別紙のとおり報告いたします。

町田市における今後の放射線対策について

町田市におけるこれまでの環境放射線の測定結果から、現在の市内の放射線量はわずかな増加にとどまっており、地域的にも大きな偏りはないと考えられます。しかし、雨や風などによって放射線物質が移動して、局所的に集中することにより高線量が測定される場所に対する市民から不安の声が寄せられています。

このたび町田市は、市の管理する施設を対象に、施設内における放射線物質の集中しやすいとされる場所の実態を把握するサンプル調査を行いましたので、その結果と、それを受けた今後の放射線対策についてお知らせします。

1. サンプル調査の内容

- 実施期間 2011年11月9日～11月16日
- 測定施設 小学校4校（町田第六小、忠生小、鶴川第一小、図師小）
中学校1校（南成瀬中）
保育園3園（森野、金森、こうさぎ） 合計8施設
- 測定場所 校（園）庭（中央および四隅）、砂場、花壇、放射性物質が集まりやすいとされる場所
- 測定内容 地上50cmと5cmの空間放射線量
- 測定機器 ALOKA TCS-172B

2. サンプル調査の実施結果（別紙参照）

- ① 屋上の排水口や側溝の一部で、最大0.97マイクロシーベルト毎時の比較的高い線量が局所的に測定されました。
原因は、排水不良、砂礫や落ち葉などの堆積（屋上の排水口）、汚泥の堆積（側溝）
- ② 砂場や花壇では、高い線量は測定されませんでした。
- ③ その他で高い線量が測定された箇所はありませんでした。

※比較的高い値の放射線量が測定された箇所のうち、すでに清掃が実施された場所では、放射線量は低減しました。

3. 今後の対策

- 全市立小中学校・保育園などでの放射線測定と高線量地点の清掃を実施します
- 私立幼稚園・保育園などに対しては、要望に応じて放射線測定の支援を実施します。
- 市民に対しては、放射性物質が集中しやすい場所に関する、適切な情報提供を行います。

（問い合わせ先：町田市保健所保健企画課長 西澤 電話042-722-7637）

